

[chiba\_19]

活動タイトル	身近に起こった災害から地球温暖化について考えてもらう
実施日	2018年8月24日
場所	厚真町総合福祉センター2階青年室（厚真町）
対象数	50人

#### 内容

厚真町で毎月1回開かれる厚真町高齢者大学で「地球温暖化と温暖化の影響における適応策と緩和策」についてお話してきました。厚真町は、地球温暖化の環境啓発は初めてだそうです。受講者は70代～80代の方々。いつもどおりに話すのは、下記の理由で“かなりハードルが高い”と考えました。

- ・おそらく家族構成はご子息が町外に出ており、エネルギー使用量も少ない
- ・受講者のお年を考えると、先々長持ちの家電などの買い替えもすすめられない
- ・町内の公共交通機関があまり便利ではないため、みなさん車が移動手段。自動車利用の自粛や代替もすすめられない。

そこで主なテーマとして考えたのが頻発する異常気象です。今年起きた、全国的な猛暑や豪雨災害。そしてここ数年起きている北海道の異常気象による災害です。2014年9月11日深夜の豪雨で、繰り返し発信された札幌市災害対策本部からの避難勧告エリアメール。2016年8月下旬に北海道に連続上陸した台風。台風がもたらした足寄町や清水町、新得町、南富良野町の被害について、わたしのテレビ取材経験も含めて触れました。

「それが地球温暖化の影響であること」「北海道でも他人事ではないこと」を強調しました。

身近に起きていることだからこそ、「地球温暖化の脅威と低炭素化の取り組み」について、少しは興味をもっていただけたと思っています。

配布資料：2018年度版スマートライフおすすめ BOOK  
実践！おうちで省エネ

#### 実施写真等

※台風10号で川の氾濫で壊れた家（清水町）



